

ALLEN&HEATH



ME 500 パーソナル・ミキサー

ユーザーガイド

Publication AP11137_20220628

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 水に入れたり、ぬらしたりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 必ずAC100V(50Hz/60Hz)の電源または、PoE受電で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因となります。
- 付属の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら(断線や芯線の露出など)、直ちに使用を中止し販売店に交換をご依頼ください。
- 水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因となります。
- 万一、落としたり筐体を破損した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

注意

- 不安定な場所に設置しないでください。落下によるけがの原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- 機器をラックに設置する場合は、必ず専用のラックマウント金具を使用し、重量を支えるために全てのネジをしっかりと固定してください。落下すると、けがや器物を破損する原因となります。
- 配線は、電源コードを抜いてから説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 電源を入れる前に、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となります。
- 機器の移動は、電源プラグをコンセントから抜き、他の機器との接続を全て外してから行ってください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■はじめに

このたびは本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

まずこちらの取扱説明書をお読みいただき、性能をご理解いただいた上で用途に応じた最適な使用方法を追求してください。

保証について

- ・ 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
- ・ お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- ・ 改造など通常の使用範囲を超えた取扱いによる故障や、設計・製造以外の要因で起きた不都合は期間内であっても保証の対象外となります。

故障かな?と思われる症状が出たときには

こちらの取扱説明書をもう一度お読みになり、接続や操作などをご確認ください。それでも改善されないときはお買い上げの販売店までお問い合わせください。調整・修理いたします。

1. 目次

1. 目次	2
2. はじめに.....	5
3. フロントパネル	6
4. リアパネル.....	7
5. ME-500の設置	8
5.1 機器の取り付け.....	8
5.2 LANケーブル.....	8
5.3 イーサネットPoEスイッチ	8
5.4 オーディオの接続.....	9
6. ME-500のオペレーティング	10
6.1 ミキサーの電源ON/OFF.....	10
6.2 Dimmer(ディマー).....	10
6.3 Standby(スタンバイ).....	10
6.4 チャンネルのキーへのマッピング	10
6.5 ディスプレイ	11
6.6 MasterLevel(マスターレベル)の調整.....	11
6.7 チャンネルの操作	11
6.8 マスターの操作.....	11
6.9 出力リミッターの設定	11
6.10 すべてのレベルをトリミングする.....	11
6.11 ME-500のプリセット.....	12
6.12 USBデバイスによるプリセットの転送.....	12
6.13 プリセットのRecall(呼び出し).....	12
6.14 プリセットの保存	12
6.15 すべてのミックス設定をクリア(削除).....	12
6.16 ハードリセット	12
6.17 ファームウェアバージョン	13
6.18 ファームウェアアップデート.....	13
6.19 仕様.....	13

梱包内容

ME-500パーソナルミキサー



ME-500用電源アダプター

ユニバーサル電圧の電源アダプターです。運用する地域に適したアダプター用プラグを取り付けて使用してください。



マニュアルダウンロードのご案内、安全上のご注意

※リンク用のLANケーブルは同梱していません。運用する環境に適した長さのケーブルをご用意下さい。ケーブルの詳細については、本書で後述します。

アクセサリー(別売)

マイクスタンドブラケット(製品名 : AB8999)

ミキサー底部には3/8"ネジの受けネジ側の穴があり、マイクスタンドの上部に取り付けることができます。マイクスタンドの側面に取り付けるためのブラケットも用意しています。



ヘッドホンハンガー(製品名 : AA8705)

マイクロホンスタンドに取り付けた状態で、ヘッドホンまたはイヤピースを吊るすフックです。ミキサーの下面に押し込んで固定します。



EtherCONコネクター付きLANケーブル

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル
100m(ドラム式) AH10886

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル
80m(ドラム式) AH10885

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル
50m(ドラム式) AH10884

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル
20m(ドラム式)



MEシリーズの概要

ME-500パーソナルミキサー

標準モデル(本書該当機器)

- 最大16系統のモノラル/ステレオチャンネル
- Auto Keyアサイン
- マスターリミッターと2バンドEQ
- 8 ユーザープリセット



ME-1パーソナルミキサー

多機能モデル

- 最大40チャンネル
- ユーザー設定可能な、User assignable keys (ユーザーアサインブルキー)
- マスターリミッターと3バンドEQ
- 16 ユーザープリセット
- グループ機能
- 名前表示
- 3.5mmステレオミニジャックAUX入力
- 内蔵アンビエントマイク
- 内蔵シグナルジェネレーター
- スタンドブラケット付属
- ヘッドホンフック付属



ME-500およびME-1ミキサーは、同じMEシステム内で組み合わせて運用できます。

ME-Uハブ

ツアリンググレードのPoEハブ



- ME-500とME-1を接続
- 10ポート
- 接続数を拡張可能なリンクハブ
- LANケーブルのPoE給電(802.3af Type1)
- 標準入力系統:
dSNAKE、MEポート、ACE(旧製品規格)
- 利用可能なオプションカード:
MADI(48kHz,64MADI)、DANTE(48kHz,64×64)
※旧製品のWaves及びES対応のカードは、当時のファームやバージョンまでの対応となっています、最新のファームやバージョンのアップデートは現在行っておりません。
- セットアップ用ネットワークポート

オプションカードの接続ポート



2. はじめに



MEパーソナルミキシングシステムは、ミュージシャン、演奏者、プレゼンター個人が、舞台上、リハーサル・ルーム、スタジオ、会議、ライブ・イベントのいずれにおいても、自分自身のモニター・サウンドをコントロールするための、柔軟で操作しやすいソリューションです。

ME-500は、スタンドアロンタイプのデジタルパーソナルミキサーで、1本のLANケーブルで最大16系統のソースをミキサーから受け取り、通常はヘッドホン、イヤホン、IEMやモニタースピーカーシステム、振動装置の付いたドラム・スローンにステレオまたはモノラルで出力します。

ME は、Allen & Heath デジタル ミキサーで動作する48kHz システムです。また、オプションの入力カードを取り付けた ME-U ハブを追加することで、48kHz のサードパーティ機器でも動作します。

ME-500は、標準モデルです、より多機能なME-1もシリーズに用意されています。MEミキサーは、システム内に多くの台数を接続できます。

MEミキサーは、ユニバーサル電圧電源アダプターを同梱しています。また、PoE (802.3af Type1) スイッチハブやME-Uを使用してLANケーブルからMEミキサーに電源を供給することも可能です。

運用環境に基づいた設計

- ステージを圧迫しないコンパクトでスマートな筐体
- 視認性の高いディスプレイ
- 暗所でも視認しやすいバックライト付きキーボタン
- 台置きまたはマイクスタンドへの取り付け
- マイクスタンドへの直接マウント
- マイクスタンドの側面を使用するオプションのブラケット
- オプションのヘッドホンフック

ミュージシャンが操作しやすいインターフェース

- Selectキーを押すだけのチャンネル選択
- ロータリーを回すだけのレベル調整
- 押し回すだけのパン調整
- Shiftキーを押しながら回すだけで、すべてのレベルをトリミング
- 個々のチャンネルまたはマスターをミュート
- 個々のチャンネルのSolo (検聴)
- マスターEQでのトーン調節
- 過大なピークを防ぐリミッター
- ミックス設定のプリセット保存/リコール
- 離席時に保護するためのStandby mode (スタンバイモード)

システム構成

- ミキシングコンソールからのパッチ出力
- 1つのキーでステレオソースを選択するための出力リンク
- キーの名前/役割を、マーキング出来るラベルストリップのスペース
- USBメモリーで設定を転送
- USBメモリーからのファームウェアアップデート

便利な接続

- LANケーブルで最大100m (線材、環境による) 接続が可能。
- ロック付EtherCONコネクター
- 任意の数のMEミキサーをデジーチェーンで接続可能
- イーサネットスイッチによるパラレル接続
- MEに対応するALLEN&HEATHミキサーへの直接接続
- Aviom ®A-Net 16への直接接続
- オプションカードを装着したME-Uハブ経由の。サードパーティーのデジタルネットワークに接続可能。
- 48kHz, DANTE, MADIに対応。
- 電源アダプターまたはLANケーブルを介したPoE給電が可能
- ツアーリンググレードの10ポートME-U PoEハブ



3. フロントパネル

Shiftキー: Shiftキーを押したまま次の操作を行います。

+Master=出力リミッター

+Rotary=全レベル

+Recall=プリセットの保存

+Solo=輝度の切替

+Mute=Standby(スタンバイ)モードのEnter/exit(実行/終了)

+Key16=ファームウェアバージョンの表示

ディスプレイ: 選択したチャンネルのレベルとパンの設定、出力EQとリミッターの設定、USBステータスとシグナルインジケータを表示します。

Shift+Soloで、ディスプレイの輝度の切り替えができます。

Master Level: ミックスレベル全体を調整します。

Master Key: 押して、出力EQにアクセスします。

ロータリーを回してブーストまたはカットします。ロータリーを押すと、低域と高域で切り替わります。

Shift+Masterでリミッターのスレッシュホールドを調整します。



Recallキー: Selectキーを押したままRecallキーを押してプリセットをRecall(リコール: 呼び出し)します。

Key1-8=ユーザープリセットからリコール

Key9=ミックス設定のクリア

Key10=USBメモリーからリコール

PresetStore(プリセットの保存)モード:

Shift+Recallキーを押して、現在のレベル、パン、ミュートの設定をStore(保存)します。

Key1-8=ユーザープリセットに保存

Key10=USBメモリーに保存

Soloキー: 押してソロモードに入り、選択したチャンネルだけを検聴します。モニタリー動作で、押している間のみソロが出力されます。アクティブ中はSoloが点滅します。

Shift+Soloを押すことでディスプレイの輝度を切り替えます。

MUTEキー: 選択したチャンネルをミュートします。ミュートすると、キーが赤く点灯します。キーが点滅して、どのチャンネルがミュートされているかを表示します。

Shift+Muteを押すとStandby(スタンバイ)モードのEnter(実行)かexit(終了)をします。

Selectキー: 16個のキーのいずれかを押して、レベル、パン、ミュートの調整や、チャンネルのSolo(検聴)を行います。チャンネルミュート時は該当チャンネルのSelectキーが速く点滅します。

また、プリセットのStore(保存)とRecall(呼び出し)、またはミックスのClear(クリア: 消去)にも使用されます。

Shift+Key16を押すと、ファームウェアバージョンを表示し、USBを使用してアップデートが可能になります。

Rotary(ロータリー): 回してレベルを調整します。ロータリーを押して回すとパンが調整できます。

Shiftボタンを押しながらロータリーを回すと、すべてのレベルのトリムになります。

ロータリーは、出力EQとリミッターの調整にも使用します。

4. リアパネル

Phones: 3.5mmミニジャックと標準1/4インチ TRSフォーンのステレオジャックで、2つのヘッドホンまたはイヤホン、またはワイヤレスイヤートランスミッターなどのラインレベル機器に接続できます。

※Phones出力は、並列出力です、個々のレベル調整はできません。

Tip=L、Ring=R

Mono Out: バランス型のフォーンジャックで、パワースピーカーやド振動ユニットの付いたドラム・スローンなどのモノラルラインレベル機器に接続します。

出力は、LRミックスのモノラルサミングです。

Tip=Hot、Ring=Cold

USBポート: ME-500ミキサー間のデータの移動や、PCにデータの保存をする際に使用します。

プリセットデータは、USBデバイス内にフォルダ名「ME500PST」、ファイル名「PRESET.ME5」として保存されます。

また、ファームウェアのアップデートにも使用されます。



Link Out: ラッチロック付きのEtherCONコネクタです。LANケーブルを接続し、デジチェーン接続時は次のMEミキサーにオーディオを供給します。

Link Outは、PoE電力を送りません。 デジチェーン接続されたミキサーは、付属の電源アダプターを使用して電源を供給してください。

Link In: ラッチロック付きのEtherCONコネクタです。LANケーブルを使用してソースを入力します。

dLive (MEモニターポート)、SQ (S-LINK)、Qu (dSNAKE)、などMEに対応するALLEN&HEATHミキサーへ直接接続または、ME-Uハブに接続している場合は、最大32チャンネルのオーディオおよびステレオリンク情報を受信します。Aviom®A-Net16に接続した場合、最大16チャンネルのオーディオおよびステレオリンク情報を受信します。

MEミキサーは、PoE (802.3af Type1) スイッチハブやME-Uを使用してLANケーブル接続されている場合、電源アダプターを使用せずLANケーブル経由で電力を供給できます。

DC In: 外部電源アダプターの入力端子です。MEミキサーに付属している電源アダプターのDCケーブルを接続します。

注意 付属している電源アダプターのみを使用してください。

または、ミキサーがPoE (802.3af Type1) スイッチハブまたは、ME-Uハブに接続されている場合、Link Inに接続されたLANケーブル経由で電力が供給できます。

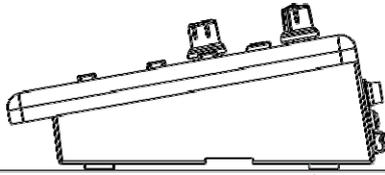
Monitor Link: Allen & Heath独自のLANケーブルによるイーサネットベースの接続は、ミキシングコンソールからMEミキサーに、48 kHzデジタルオーディオとステレオリンクデータの40chを伝送します。

ME-1はCH1-40を使用します。チャンネルは任意の順序でキーにアサインでき、ME-1でシングル、ステレオ、またはグループ化した操作に設定できます。

ME-500は、ミキシングコンソールでのステレオ操作にリンクされているチャンネルの数に応じて、CH1-32を使用します。チャンネルは、CH1から始まる16個のキーに自動的にアサインされます。ステレオリンクされたペアは、単一のキーに割り当てられます。

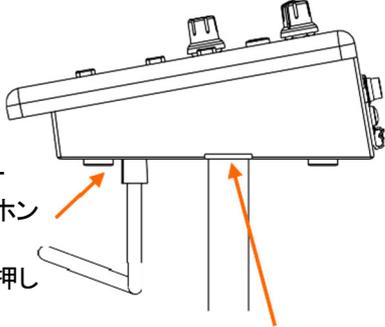
5. ME-500の設置

5.1 機器の取り付け



台置き：滑り止めのゴム足

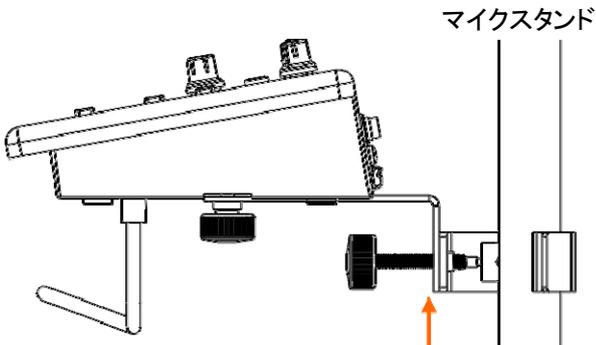
※高温の機器の近くに置かないでください。



別売アクセサリーのヘッドホンハンガー (AA8705) を押し込みます。

スタンドの上部にマウント: 3/8インチねじで固定

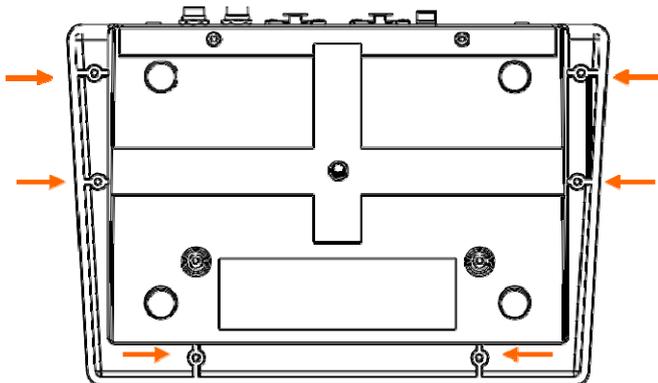
※マイクスタンドが安定していることを確認してください。



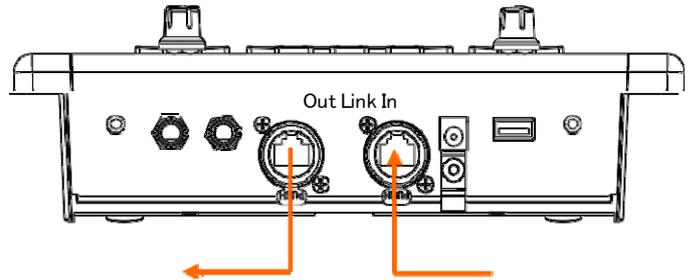
スタンド側面にマウント: 別売アクセサリーのマイクスタンドブラケット (AB8999) を使用。

演台など、パネルにマウント: 6Bネジ用の穴で軽く固定できます。

※6Bネジ: M3~3.5相当のタッピングネジ (M3.5やタップタイトを使用する場合は割れないようご注意ください。)



5.2 LANケーブル



次のMEミキサーへ (デジチェーンの場合)

コンソール、ME-Uまたは、PoEスイッチハブから

接続は、STP/FTP CAT5e以上のシールド・ツイストペア LANケーブルをご使用ください。フォイルシールドと編組シールドを両方備えたケーブルは干渉に強く、概して丈夫です。芯線が「より線」のケーブルは、ねじったり、繰り返して巻いても、比較的損傷しにくい構造です。

ME-500は、接続の保護と信頼性を確保するために、NEUTRIK社製イーサネットレセプタクル(ロック付)を採用しています。ケーブル側にもNEUTRIK社製NE8MX6タイプが取り付けられたケーブルの使用をおすすめします。 ※最大ケーブル長、100m以内(ケーブル性能、環境による)。

安定した動作のために、ケーブル長は、必要以上に長くしない事をおすすめします。



5.3 イーサネットPoEスイッチ

複数のME-1ミキサーをパラレル接続(スター接続)する場合、10ポートのAllen&Heath ME-Uハブを使用すると便利です。



または、市販の標準的なPoEイーサネットスイッチを使用することもできます。

※Aviom®A-Net16と互換運用する場合は、次の点にご確認ください。

一般的なPoEイーサネットスイッチと互換性がありません。

100Mbit/s(Fast Ethernet)をサポートするレイヤー2アンマネージドスイッチ、または、ギガビットスイッチが適しています。

5.4 オーディオの接続

ステレオヘッドホン端子:2つのヘッドホン用の出力ジャックが装備されています。

標準1/4 インチステレオ (TRS) フォーンプラグまたは、3.5mmステレオミニプラグを使用して、ヘッドホンやイヤホンを接続することができます。

インピーダンスが16Ω～600Ωのヘッドフォンを推奨します。インピーダンスが低いヘッドホンは、通常、音量が大きくなります。

どちらかのジャックを使用するか、または両方を同時に使用することができます。たとえば、同じミックスを2人のミュージシャンに供給するために両方のジャックを使用することができます(個々の音量調整はできません)。

ステレオライン機器:ステレオ出力を使用して、録音デバイスやワイヤレス・インイヤーマニターのトランスミッターなどのラインレベルの機器に接続できます。

最大出力レベル=+21dBu。

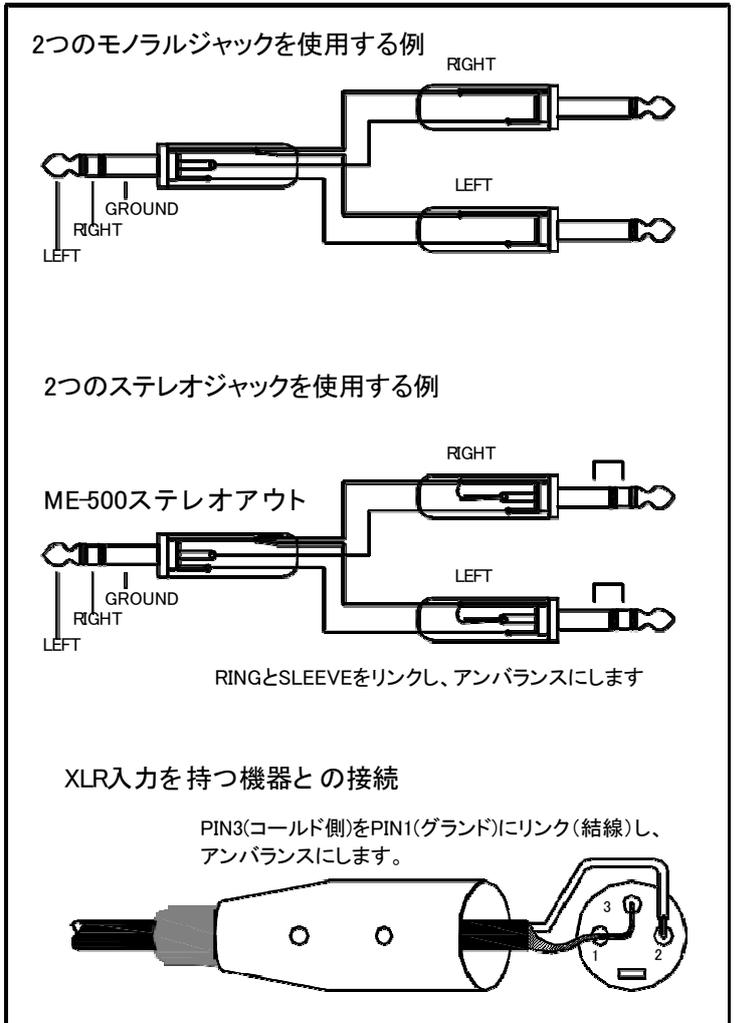
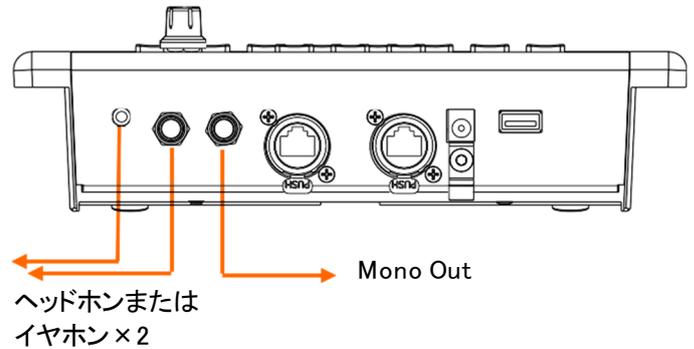
ME-500 は、L側R側の信号を標準1/4 インチステレオ (TRS) フォーンジャックから出力します。

同じステレオの信号が、標準1/4インチ、3.5mmの各大小のジャックから並列で出力されています。L側R側の個々の入力を持つ機器に接続するには、ステレオケーブルを使用してください。

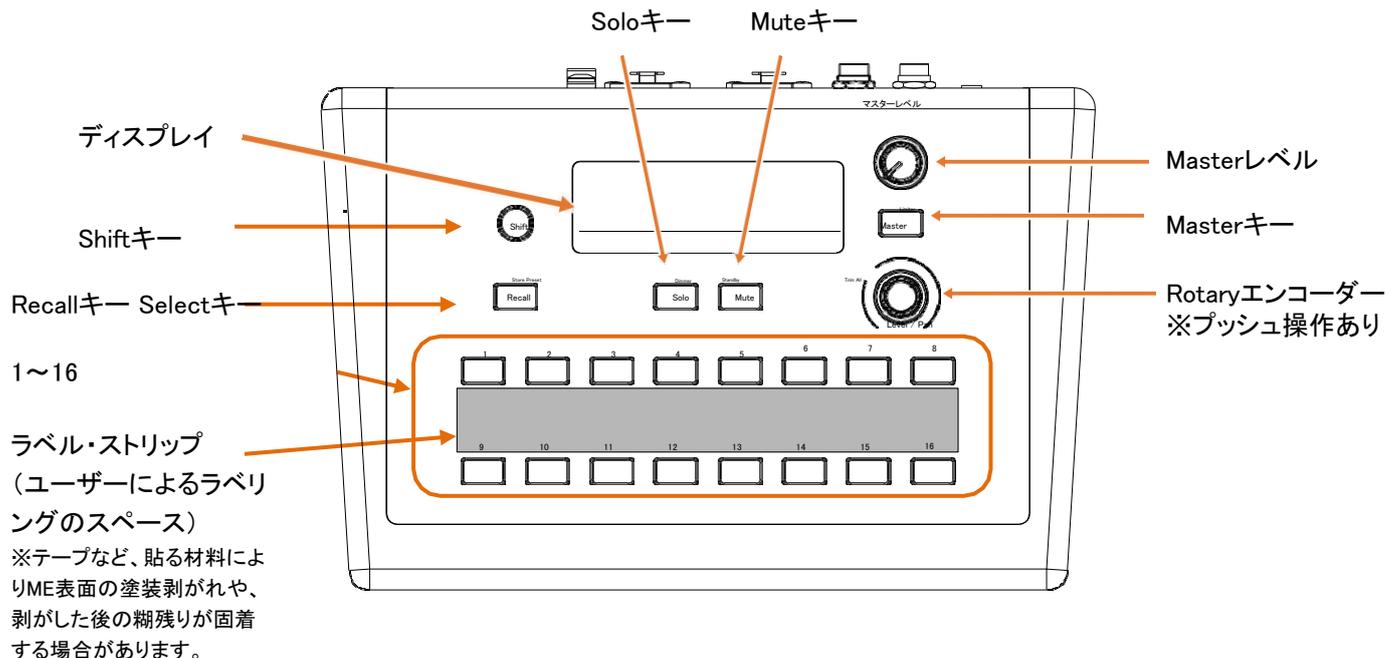
出力はアンバランスです。バランス機器に接続する場合は、接続先のプラグ内で入力のコールド(-)信号をグラウンドに接続してください。

Mono out: パワードスピーカーなどのバランスまたはアンバランスのラインレベル機器に送ります。

 **スピーカーを使用する場合は、フィードバックの原因となる大きな音量を避けるように注意してください。マスターレベルを下げ、レベルを徐々に上げていきます。**



6. ME-500のオペレーティング



6.1 ミキサーの電源のON/OFF

MEミキサーの電源をONにする: 付属の電源アダプターをDC Inソケットに挿し込むか、PoEスイッチまたは、ME-UハブからのLANケーブルをLink Inソケットに接続します。青色の電源インジケータが点灯します。ME-500は前回の設定が復元され、すべてのキーがオフで起動します。

※MEミキサーをPoEスイッチ/ME-U経由でデジチェーン接続で運用している場合、1台目のMEミキサー以降は、給電しません。
(MEミキサーのLink outソケットからのPoEの供給はできません。)

MEミキサーの電源をOFFにする: 電源アダプターのDCケーブルを抜くか、PoEを使用している場合はLink InのLANケーブルを抜きます。

※デジチェーン接続されている場合、電源を切ると、その機体以降のミキサーへのオーディオ接続もオフになります。

6.2 Dimmer(ディマー)

Shift+Soloキーを押して画面を切り替え、キー照明の明るさを調整できます。

6.3 Standby(スタンバイ)

ME-500ミキサーから離れる際には、Standby(スタンバイ)モードを使用してください。これにより、操作がロックされ、オーディオがミュートされます。スタンバイモードに入るには、ShiftキーとMuteキーを同時に押してください。終了するには、再び両方のキーを押してください。

6.4 チャンネルのキーへのマッピング

ソースパッチ: 接続するミキシングコンソールの出力パッチ設定から、オーディオとステレオリnkの情報をMEミキサーに送信します。手順については、ミキシングコンソールのユーザーガイドを参照してください。

入力チャンネル、グループ、およびミックス出力の任意の組み合わせを、40系統のMEモニターチャンネルにパッチできます。 ME-500は、ステレオ操作にリンクされているチャンネルの数に応じて、最大32チャンネルを運用できます。※16系統をステレオリnkした場合の最大数。

入力チャンネルソース: 入力チャンネルをダイレクトアウトにパッチして、これらをポストEQ、ポストMute、プリフェーダーに設定することをおすすめします。

これは、モニターへの送りがミキシングコンソールのチャンネルEQとMuteの影響を受けませんが、FOHのミックスのフェーダーコントロールの影響を受けないことを意味します。

ステレオリnk: ミキシングコンソールの出力パッチページで、チャンネルの奇数/偶数ペアリングしてステレオリnkの操作を行うことができます。

MEのキーアサイン: 16個のSelectキーは、ch1から順番にモニターチャンネルに自動で受信しアサインされます。チャンネルの奇数/偶数リンクペアは、単一のキーに割り当てられます。

※MEミキサーの電源が入っている間にステレオリnkを変更すると、CH1から始まるキーが上下に再編されます。

ユーザーラベル: ラベルストリップを利用して16個のキーにラベルを付けることができます。

6.5 ディスプレイ



ディスプレイには、ロータリーでコントロールされているパラメーターが表示されます。Level(レベル)、Pan(パン)、Bass(ベース)、Treble(トレブル)、Limiter(リミッター)のスレッシュホールドです。

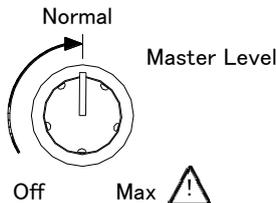
オーディオ信号アクティビティを示すSIGの表示色:

- 緑色=-40dB~
- オレンジ色=+3dBノーマルレベル
- 赤=クリップのポイントから-3dBで点灯します。
- ピークリミッターが動作するとLIMが点灯します。

USBデバイスが認識されると、USBが点灯します。

6.6 Master Level(マスターレベル)の調整

Master Levelノブを回して出力ボリュームを調整します。必ず絞りに切った状態(Offの位置)から初めてください。メーターを見て、入力に適正になるよう調整を行い、ほどよいリスニングレベルになるように出力を上げます。一般的には中間(Normal付近)の位置に設定します。



6.7 チャンネルの操作

チャンネルを操作するには、Selectキーを押します:

Level: Rotaryエンコーダーを回します。メーターバーには、オフから+10dBのブーストまでのレベルが表示されます。ポインターは0dBレベルを示します。これは、ミックス内のメインソースの通常レベルを表します。

Pan: Rotaryエンコーダーを押して回し、左右のバランスを調整します。ポインターは中間位置を示します。

Mute: Muteキーを押して、チャンネルのミュートを切り替えます。ミュートされているチャンネルのSelectキーが点滅します。

Solo: Soloキーを押して、選択したチャンネルだけを検聴します。ソロがアクティブのときにキーが点滅します。ソロは、モーメンタリー動作です。1秒以上押しと(押ししている間だけ)検聴できます。

6.8 マスターの操作

Masterキーを押して出力を操作します:

Mute: Mute(ミュート)キーを押して、ミックス出力のオン/オフを切り替えます。

Bass: ロータリーを回すと低域(BASS)が最大15dBブーストまたはカットされます。

Treble: ロータリーを押すと低域と高域(Treble)で切り替わります。高域を最大15dBブーストまたはカットします。

6.9 出力リミッターの設定

リミッターは、出力音量が最大レベルを超えないように設定する事で、ユーザーの聴覚を保護する機能です。

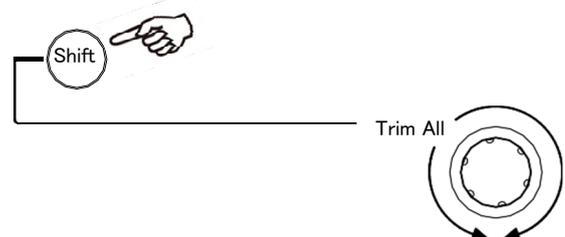
Shift+Masterキーを押して、リミッターにアクセスします:

Threshold: スレッシュホールドの設定は、出力を必要とする最大音量に設定し、LIMインジケーターが点滅し始めるまでロータリーを回します。

 **警告!** 聴覚障害のリスクを避けるため、長時間、大音量で使用しないでください。

6.10 すべてのレベルをトリミングする

Shift キーを押しながらロータリーを回すと、すべてのレベルを同時に上下にトリミングできます。



この操作を行うと、SIGが赤く点滅した場合に過大に入力されたミックスを減らす、メーターの読み取り値が低いミックスを上げる、すべてのレベルをオフにするにはTrim Allを使用します。

※最も高いレベルのソースが最大に達するか、最低レベルのソースが最小に達すると、ミックスバランスが変化します。ソース間の相対的なバランスを保ちたい場合は、Trim Allを注意深く使用して、細かく調整を行います。

6.11 ME-500のプリセット

ME-500は、最大8つのプリセットをStore(保存)し、Recall(呼び出し)できます。プリセットは、全てのチャンネルレベル、パン及びミュートを保存します。マスターEQおよびリミッターの設定は保存されません。

Keys1-8を使用して、ミキサー内にプリセットを保存します。Key9を使用すると、すべてのミックス設定をすばやく消去できます。

6.12 USBデバイスによるプリセットの転送

設定は、USB デバイスを使用してME-500ミキサー 間で転送したり、コンピューターにアーカイブしたりできます。これにより、すべてのチャンネルのレベル、パン、ミュートの設定を他のME-500ミキサーに移すことができます。

Key10を使用して、設定をUSBにStore(保存)します。USBアイコンは有効なデバイスが認識されると点灯します。デバイスに問題がある場合は点滅します。



設定は、USBデバイスのME500PSTフォルダー内にPRESET.ME5という名称のファイルとして保存されます。

※ME-500とME-1のプリセットは互換性がありません。

※プリセットに名前を付けることはできません。USBファイルの名前は変更しないでください。

6.13 プリセットのRecall(呼び出し)

Recallキーを押したままにします。Selectキーが点灯し、プリセット状態が表示されます：



Off: プリセットなし

On: 最後に呼び出されたプリセット

短く点滅: 呼び出し可能なプリセット。

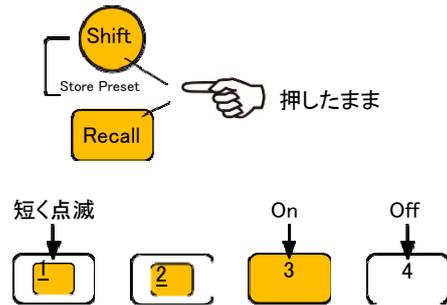
Recallキーを押しながら、Selectキーを押してプリセットを呼び出します。現在のミキサーの設定は、呼び出したプリセットの内容で上書きされます。

Selectキー1~8: 保存されたプリセットの呼び出し。

Selectキー10: USBデバイスからの呼び出し。

6.14 プリセットの保存

Shift+Recallを押したままにします。Selectキーが点灯し、プリセット状態が表示されます：



Off: プリセットなし

On: 最後に選択されたプリセット

短く点滅: 保存可能なプリセット

Shift+Recallを押しながら、Selectキーを押して、現在の設定をプリセットに保存します。

Selectキー1~8: プリセットにStore(保存)します。

Selectキー10: 設定をUSBデバイスに保存します。

6.15 すべてのミックス設定をクリア(削除)する

Recallを押しながらSelectキー9を押すと、すべてのチャンネルのレベル、パン、ミュート、ソロが瞬時にクリア(削除)されます。マスターEQ、リミッター、保存されているプリセットには影響しません。

6.16 ハードリセット

ハードリセットは、すべてのミックスおよびマスター設定をクリアし、保存されているすべてのプリセットをクリアすることによって、ミキサーを工場出荷時に戻します。

ハードリセットを実行するには、以下の手順を行います。

ミキサーの電源を切ります。

Shift+Recall+Masterキーを押したまま、ミキサーの電源を入れます。

5秒後にキーを放します。

6.17 ファームウェアバージョン

ME500ファームウェアにはバージョン1.23という番号が付けられています:

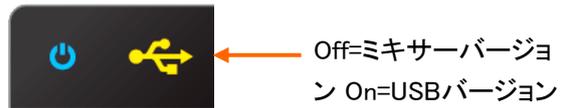
- 1 =メジャーバージョン
- 2 =マイナーバージョン
- 3 =メンテナンスバージョン

現在のミキサーバージョンの確認は、USBデバイスが接続されていない状態で行ってください。

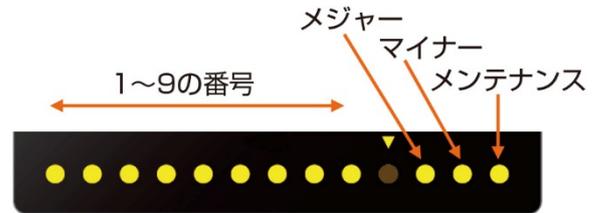
USBデバイスのバージョンを確認するには、USBデバイスを接続します。Shift+Selectキー16を長押しすると、ディスプレイ上にメジャーバージョンが表示されます。

Shiftキーを押しながら、Selectキー16をもう一度押すと、マイナーバージョンが表示されます。

もう一度押して、メンテナンスバージョンを表示します。



右側のドットは、メジャー、マイナー、メンテナンスバージョンを示します。左側のドットはその番号を表示します。



6.18 ファームウェアのアップデート

最新バージョンのファームウェアについては、Allen & Heath の Web サイトを確認してください。ダウンロードし、USBメモリーキーを介して ME ミキサーに転送できます。

アップデートを開始するには、Shift+Selectキー16を押しながらロータリーノブを押してください(押して放す動作)。情報詳細については、Web サイトのリリース ノートとインストラクションを参照してください。

6.19 仕様

STEREO OUT: 標準1/4 インチ TRSフォーンおよび3.5mmステレオミニジャック

ヘッドホン(イヤホン): 推奨インピーダンス16~600Ω
出力: 300+300mW(100Ω)ライン出力時最大+21dBu

モノラル出力: バランスTRS標準フォーンジャック、定格0dBu、最大+18dBu

残留出力ノイズ: -95dBu(レベル最小)

周波数特性: +0/-1dB (20Hz~20kHz)

電源アダプター: 100-240V、AC50/60Hz、+12V、DC1.25A

PoE要件: ME-500単体で※推奨PoE(802.3af Type1) 15.4W
または、802.3at(Type2) 25.5Wも使用可能。

寸法: 幅x奥行x高 227×160×70mm(突起部含)

質量: 約1.1kg

ALLEN & HEATH

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

2023年12月版